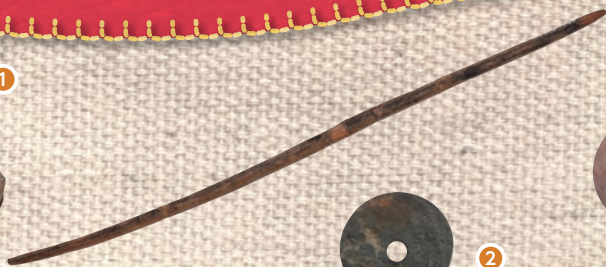


弥生ファッション

紡ぐ



①



②



③



④



⑤



⑥

織る

染める



機織り模型 (田原本町教育委員会写真提供)
※①～⑥の名称は裏面「主な展示品」参照

2025 10/18 SAT → 12/14 SUN

【関連講演会等】※応募詳細は裏面をご参照ください。

11月2日 18「弥生時代の麻の糸づくりと布織り」

定員 50人

講演会

講師／東村 純子氏 (福井大学准教授)

11月30日 18「骨角貝製装身具類からみた弥生社会」

定員 50人

シンポジウム

(共催:明治大学資源利用史研究クラスター)

登壇者／木下 尚子氏 (熊本大学名誉教授)

川添 和暁氏 (愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員 / 明治大学資源利用史研究クラスター)

青野 友哉氏 (東北芸術工科大学教授)

吉永 亜紀子氏 (総合研究大学院大学総合進化科学センター連携研究員)

米田 穰氏 (東京大学総合研究博物館教授)

12月6日 18「あさひムラの弥生ムラぐらし～染織編」

定員 25人

講座ヒストリーカフェ

講師／松本 彩 (あいち朝日遺跡ミュージアム主任学芸員)



観覧料

常設展も
観覧できます

区分	一般	大学生・高校生 (学生証のご提示が必要です)
個人	300円	200円
団体 (有料20名以上)	250円	150円

※学校行事 (高校以下) 及びその引率者、中学生以下、障がい者の方及びその付添いの方 (1名まで) は無料 ※団体は事前申込みが必要
※あいちウィーク (11/21 (金)～11/27 (木)) は観覧料が無料です。

AICHI ASAHI SITE MUSEUM
あいち朝日遺跡ミュージアム

〒452-0932 愛知県清須市朝日貝塚1番地 TEL.052-409-1467

■開館時間 / 9:30～17:00

■休館日 / 毎週月曜日 (祝休日の場合、翌平日)

■駐車場 / 15台

※「あいちウィーク」(11月21日 (金) から11月27日 (木) まで)
期間中の11月25日 (火) は開館し、11月28日 (金) は休館します。



SNSもご覧ください



<https://aichi-asahi.jp/>



※お客様よりいただいた個人情報、本事業のご案内のみに活用させていただきます。

あいち朝日遺跡ミュージアム企画展 弥生ファッション～紡ぐ、織る、染める

布を織る技術は、縄文時代の終わり頃に大陸から導入され、弥生時代に全国へと広まりました。縄文時代にも編む技術はありましたが、機織り機を使って織る技術が導入されたことは、布づくりへの画期的な進歩だったと考えられ、それ以降、目の細かい布は機織り機でつくられるようになりました。

本企画展では、弥生時代の遺跡から出土した布づくりに関する道具や、布の痕跡が付いた土器などを展示し、弥生時代の機織りの技術や染色の技術を紹介するとともに、当時の人々が身に付けていた様々な装身具を展示し、弥生時代の人々がどのようにファッションを楽しんでいたかを紹介いたします。

- 主な展示品**
- ① 樹皮製品 八日市地方遺跡(重要文化財/小松市埋蔵文化財センター蔵・写真提供)
 - ② 軸付紡錘車 鬼虎川遺跡(東大阪市蔵)
 - ③ 鯨骨製紡錘車 唐古・鍵遺跡(重要文化財/田原町教育委員会蔵)
 - ④ 布送具 碓遺跡(米原市教育委員会蔵)
 - ⑤ 緯打具 朝日遺跡(重要文化財/本館蔵)
 - ⑥ 経送具 八日市地方遺跡(石川県埋蔵文化財センター蔵・写真提供)

関連講演会・関連イベント等 ※展示の観覧には観覧料が必要です。

講演会 「弥生時代の麻の糸づくりと布織り」

弥生時代の人々はどうような衣服を着ていたのでしょうか。遺跡から出土した紡織に関する資料を基に、麻の糸づくりから布を織るまでの技術について紹介します。また、現代のアジアの少数民族に伝わる機織り技術の例などから、私たちの暮らしの中の手仕事についても考えます。

11月2日(日) 13:30～15:00 **講師** 東村 純子氏 (福井大学准教授)

会場 あいち朝日遺跡ミュージアム 本館(研修室) **参加費** 無料 **定員** 50人(要事前申込み)
申込方法 あいち朝日遺跡ミュージアム公式Webサイト (<https://aichi-asahi.jp/>) の応募フォーム又はミュージアム窓口にてお申し込みください。
申込期間 9月18日(木)から10月19日(日)まで
 ※申込多数の場合は抽選とします。抽選の有無に関わらず、参加いただける方にはメールもしくは電話で10月24日(金)までに連絡します。

シンポジウム 「骨角貝製装身具類からみた弥生社会」 (共催：明治大学資源利用史研究クラスター)

骨・角・牙や貝殻などの動物性素材を用いた装身具は、当時の社会性・精神性がよく表れている象徴的な資料です。本シンポジウムでは、骨角貝製装身具類(装身具・儀式用の道具などの総称)の分析を通して、縄文時代から弥生時代への社会の変化や集団関係の変遷について検討します。

11月30日(日) 10:00～16:30

講演「腕輪習俗からみた弥生社会」 木下 尚子氏(熊本大学名誉教授)
発表1「本州・四国・九州域の弥生時代骨角貝製装身具類」 川添 和曉氏(愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)
発表2「北海道島・縄文晩期の骨角貝製装身具類」 青野 友哉氏(東北芸術工科大学教授)
発表3「弥生時代の出土動物遺存体と骨角器素材利用ー関東地方、北陸地方、中国地方の事例からー」
吉永 亜紀子氏(総合研究大学院大学総合進化科学研究センター連携研究員)
発表4「土井ヶ浜遺跡出土土人骨における生前の食生活と装身具の関係」 米田 稯氏(東京大学総合研究博物館教授)
 ※講演・研究発表の後、登壇者による討論を行います。

会場 あいち朝日遺跡ミュージアム 本館(研修室) **参加費** 無料 **定員** 50人(要事前申込み)
申込方法 あいち朝日遺跡ミュージアム公式Webサイト (<https://aichi-asahi.jp/>) の応募フォーム又はミュージアム窓口にてお申し込みください。
申込期間 9月18日(木)から11月16日(日)まで
 ※申込多数の場合は抽選とします。抽選の有無に関わらず、参加いただける方にはメールもしくは電話で11月21日(金)までに連絡します。

※シンポジウムの詳細については、あいち朝日遺跡ミュージアム公式Webサイト (<https://aichi-asahi.jp/>) 及び明治大学資源利用史研究クラスターの公式Webサイト (<https://resourceutilization.wordpress.com/>) で御案内します。

講座ヒストリーカフェ 「あさひムラの弥生ムラぐらし～染織編」

展示資料の解説をするとともに、ペニバナを使った染色実験を行いながら、現在ミュージアムで試行している様々な取組について紹介します。

12月6日(土) 13:30～14:30 **講師** 松本 彩 (あいち朝日遺跡ミュージアム主任学芸員)

会場 あいち朝日遺跡ミュージアム 本館(研修室) **参加費** 無料 **定員** 25人(要事前申込み)
申込方法 あいち朝日遺跡ミュージアム公式Webサイト (<https://aichi-asahi.jp/>) の応募フォーム又はミュージアム窓口にてお申し込みください。
申込期間 9月18日(木)から11月23日(日)まで
 ※申込多数の場合は抽選とします。抽選の有無に関わらず、参加いただける方にはメールもしくは電話で11月28日(金)までに連絡します。

イベント 古代体験プログラム

先着
各10人

10月4日(土)・12月27日(土)

会場 本館(体験学習室) **定員** 各回先着10人
申込方法 当日、ミュージアム窓口にてお申し込みください。
 ※事前予約はできません。

月替わりメニュー (10月～12月)

土・日・祝日	15:00～ (各日1回開催)
10月 ミニチュア石包丁づくり	●所要時間：45分 メニュー作例 教材費 50円
11月 貝殻アクセサリづくり	●所要時間：45分 メニュー作例 教材費 50円
12月 稲わらを使って正月飾りをつくろう	●所要時間：60分 メニュー作例 教材費 250円

常設メニュー

カラフル勾玉づくり ●土日祝 11:00～/14:00～ (各回30分) メニュー作例 教材費 300円	火起こし体験 毎日開催 ●平日 13:00～ ●土日祝 10:00～/13:00～ ※荒天時は中止します。 あいち朝日遺跡の火の起こし方を 知ろう 教材費 50円
---	---

あいちウィーク特別企画 朝日遺跡弥生ウィーク

11月21日(金)・11月27日(木)

申込方法 当日、ミュージアム窓口にてお申し込みください。
 ※事前予約はできません。 **参加費 無料**

① 土器拓本づくり

会場 あいち朝日遺跡ミュージアム 本館(研修室)
時間 午前10時から正午まで、午後1時から4時まで(所要時間30分) **定員** 各日100名

② あいち朝日遺跡ミュージアム探検隊

会場 あいち朝日遺跡ミュージアム(本館企画展示室1・2、史跡貝殻山貝塚交流館、国指定史跡貝殻山貝塚及び復元建物等)
時間 ①午前10時30分から、②午後2時30分から(所要時間60分) **定員** なし

AICHI ASAHI SITE MUSEUM

あいち朝日遺跡ミュージアム

